

小田勝太郎

おだ・かつたろう

誠之館武道(柔道)教師、「誠之館記碑」を揮毫

経歴

生:文久2年(1862年)4月15日、福山市天神町(現福山市丸之内)生まれ

没:昭和10年(1935年)9月11日午後5時40分、享年74歳、北吉津町の実相寺に葬る

—	—	幼にして漢学を修める
—	—	藩校誠之館卒業
明治11年(1878年)2月1日	17歳	松永小学校に奉職
明治15年(1882年)12月1日	21歳	上京、講道館で嘉納先生にドイツ学を学ぶ、柔道で鍛える
—	—	大道学館において哲学を修める
明治16年(1883年)	—	『東京諸学校学則一覧』を編集
明治18年(1885年)9月1日	24歳	独逸協会学校において生徒監督(明治19年8月30日)
明治19年(1886年)9月1日	25歳	独逸学協会学校に入学
明治19年(1886年)	25歳	誠之舎の創立を思い立つ
明治23年(1890年)7月30日	29歳	独逸学協会学校を退校
明治23年(1890年)	29歳	誠之舎完成
明治23年(1890年)7月1日	29歳	誠之舎幹事
明治23年(1890年)9月1日	29歳	東洋哲学館に入学
明治24年(1891年)頃	30歳	福山学生会を組織する
明治24年(1891年)4月1日～ 明治28年(1895年)7月30日	30～ 34歳	陸軍幼年学校教授
明治25年(1892年)2月10日	31歳	東洋哲学館を退校
明治25年(1892年)4月4日～ 明治28年(1895年)9月10日	31～ 34歳	大道学館の教育並びに監理
明治25年(1892年)9月1日～ 明治27年(1894年)4月30日	31～ 33歳	東京高等師範学校教授

明治26年(1893年)3月1日	32歳	誠之舎幹事を退任
明治27年(1894年)5月20日	33歳	講道館の落成式で、加納治五郎の相手役をつとめる。それを見た勝海舟が感激し賞賛したという。
明治35年(1902年)4月1日～ 明治37年(1904年)8月4日	41～ 43歳	千葉県立佐原中学校教師(柔道・漢文・習字)
明治38年(1905年)5月25日	44歳	安東県市政準備委員に就任
明治38年(1905年)8月1日～ 明治39年(1906年)2月20日	44～ 45歳	安東県軍政事務所雇員
明治40年(1907年)2月5日	44歳	上海・東亜同文書院寮監及び武道総監
明治43年(1910年)9月21日	47歳	上海・東亜同文書院寮監を辞任し、教授並びに武道総監に就任
明治44年(1911年)11月30日	48歳	上海・東亜同文書院を辞任
大正元年(1912年)9月7日～ 大正3年(1914年)3月27日	51～ 53歳	広島県立福山中学校(誠之館)武道(柔道)教師
—	—	講道館幹事
昭和2年(1927年)	66歳	「誠之館記碑」を揮毫
晩年	—	長期にわたって、講道館発行の柔道研究誌「柔道」の編集長をつとめる。

生い立ちと学業、業績

文久2年(1862年)4月15日、福山・天神町(現福山市丸之内)に生まれる。父は銀八、母はヨシ(田尻村農業・緒方平三郎の妹)。通称は勝太郎、号は得水。

幼にして漢学を修め、藩校誠之館に通い、卒業。

明治11年(1878年)、17歳にして松永小学校に奉職した。

明治15年(1882年)、21歳の秋、大志を抱いて上京、講道館において嘉納先生についてドイツ学を学び、また柔道で心身を練る。さらに大道学館において哲学を修めた。

明治19年(1886年)、25歳のころより誠之舎の創立を思い、明治23年(1890年)にその意を達成した。その後、誠之舎の幹事として基礎固めをした。

以後、教授として、武道教師として学生の訓育に臨み、大正元年(1912年)9月7日～大正3年(1914年)3月27日には、母校・誠之館で武道(柔道)の教師を務めた。

晩年は、書道に専心し、昭和2年(1927年)建立の「誠之館記碑」を揮毫した。

昭和10年(1935年)9月11日午後5時40分、74歳の生涯を閉じた。

誠之館所蔵品

管理No.	氏名	名称	制作/発行	日付
06529	中村光夫 編	『小田勝太郎アルバム』	中村光夫	平成22年
06530	中村薫 著	『聞き書き・わたしの履歴書』	中村光夫	平成8年
06531	中村光夫 編	『小田勝太郎アルバム(資料編)』	中村光夫	平成22年
06532	中村光夫 著	『夏の西国ドライブ日記』	中村光夫	平成22年
06909	融道男 著	『祖父 融道玄の生涯』	勁草書房	平成25年

資料提供: 中村光夫氏(小田勝太郎氏令孫)

出典1:『小田勝太郎アルバム』、中村光夫編刊、2010年8月8日

出典2:『聞き書き・わたしの履歴書 中村薫』、中村薫著、中村光夫編刊、1996年9月14日

出典3:『誠之館百三十年史(上巻)』、815・1058頁、福山誠之館同窓会編刊、昭和63年12月1日

出典4:『福山学生会雑誌(81号)』、39頁、福山学生会事務所編刊、昭和10年12月30日

出典5:『茶山朴斎鰐水－福山藩の儒者たち－』、43頁、福山城博物館編刊、2003年10月12日

2004年10月20日更新●2004年10月26日更新:履歴●2006年6月21日更新:タイトル●2008年2月4日更新:本文・関連情報削除●2010年8月16日更新:写真・出典●2010年9月16日更新:経歴・誠之館所蔵品・探しています●2013年3月11日更新:履歴●2013年3月15日更新:探しています●2013年9月18日更新:本文●2014年3月19日更新:誠之館所蔵品●